

2024年12月4日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

キャリアと家庭の両立に関する調査

～育児中の女性に調査を実施。不安に感じていることは「お金と時間」、身近にお手本となる人が少ない結果に～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司）は、2024年11月、小学生までの子どもを育てながら働く女性2,749名を対象に、「キャリアと家庭の両立に関する調査」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：GMOリサーチ&AI）

◆「現在不安に感じていることや悩み」の上位は？

1位は経済的な不安、2位と3位は時間に関する悩み

現在感じている不安や悩みのトップ5のうち、お金と時間に関する項目が上位3つを占めました。「生活費や教育費など、経済的な不安がある」と回答した人は全体の41.6%でした。「仕事や家事に追われ、時間が足りないと感じる」は34.1%、「自分のためのリラックスや趣味の時間が確保できない」は30.2%と、育児をしながら働く女性の多くは時間の使い方に課題を感じているようです。

Q. 現在不安に感じていることや悩みごとはありますか？（複数回答）	回答数 （%）
生活費や教育費など、経済的な不安がある	1,144 (41.6%)
仕事や家事に追われ、時間が足りないと感じる	938 (34.1%)
自分のためのリラックスや趣味の時間が確保できない	831 (30.2%)
体力的・健康面での不安がある	797 (29.0%)
職場や家庭内での人間関係がストレスとなっている	512 (18.6%)

◆「仕事と家庭の両立」しているロールモデルの有無は？

ロールモデルが「いる」は、わずか **10.9%**

不安や悩みを解消するには、ロールモデルとなる人の存在も大きいとされています。調査結果では、ロールモデルになる人が「いる」は10.9%でした。

身近にロールモデルがいて、仕事に対する姿勢やスキルを学びやすく、モチベーションを保ちやすいなどの効果が考えられます。時には、困りごとや悩みを相談できる存在にもなり得るようです。

Q. 「仕事と家庭の両立」しているロールモデルになる人はいますか？	回答数 (%)
ロールモデルがいる	300 (10.9%)
ロールモデルはいない	2,449 (89.1%)

《調査概要》

- ◆調査タイトル : キャリアと家庭の両立に関する調査
- ◆調査対象 : GMO リサーチ&AI のインターネットモニター会員を母集団とする
全国 20 歳～44 歳の子育て中の働く女性
- ◆調査期間 : 2024 年 11 月 14 日～11 月 18 日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,749 名
- ◆調査協力会社 : GMO リサーチ&AI

※小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない場合があります。

◆ 家族も仕事も大切にできるよう応援します、ジブラルタ生命

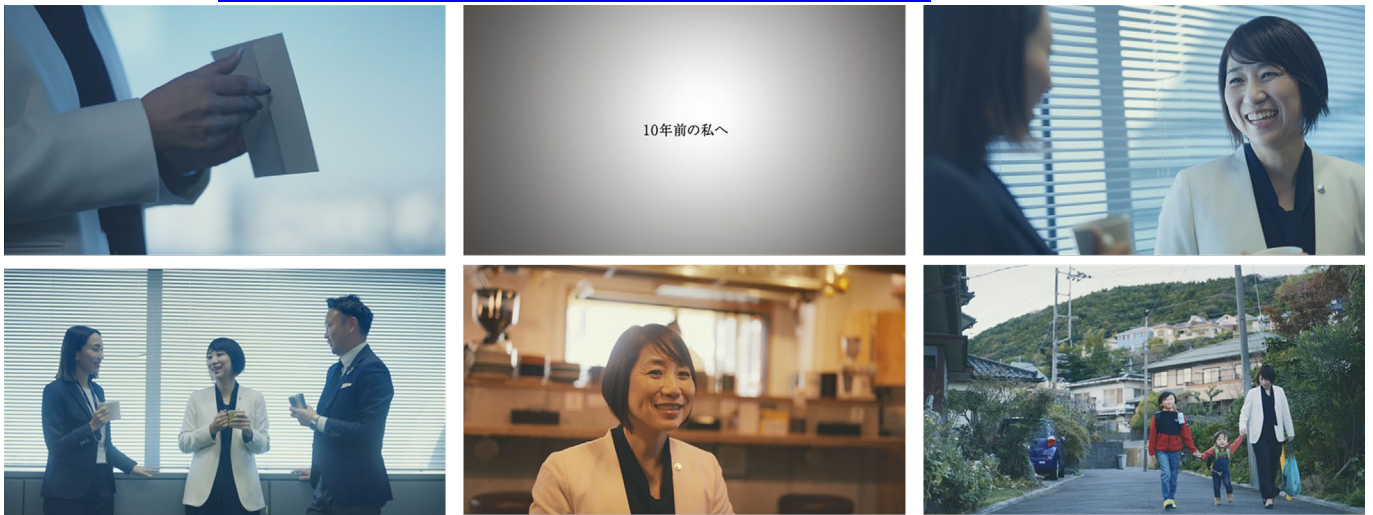
独自の社内調査にて、ロールモデルが「いる」は 26.6%、ロールモデルは「同僚」が 60%

当社の女性社員94名に「キャリアと家庭の両立に関する調査」を独自に実施したところ、ロールモデルになる人が「いる」は26.6%となりました。また、「ロールモデルとしている人は誰か（複数回答）」で圧倒的に多かったのは「同僚」の60.0%という結果となりました。

当社は、家族も仕事も大切にできるよう応援しています。子育てしながら働く女性社員が、家族との時間を大事にしながら、お客さまに経済的な保障と心の平和をお届けする様子を動画化しました。家族も仕事も諦めない、キャリアと家庭の両方を手に入れることができる働き方を実現している社員がいます。

営業職であるライフプラン・コンサルタントの脇田 真美奈（わきた まびな）は、「ここなら人生を変えられるかもしれない」と、人生をこの会社に託したと語ります。3人の子どもを育てながら、家庭も仕事も充実している今だからこそ、10年前の迷っていた自分に贈るメッセージを込めた動画です。

「10年前の私へ（<https://www.youtube.com/watch?v=5qqbuLoM2mc>）」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563